

広島本社 / 広島事業所



五日市工場

所在地 — 広島県広島市佐伯区五日市港二丁目2番1号
 事業内容 — 油圧ショベルの製造、開発拠点
 土地面積 — 約10万㎡
 建築面積 — 約3.7万㎡
 操業開始 — 2012年5月
 施設構成 — GEC棟、先行技術センター、総合研修センター、工場事務所、組立棟、製缶棟、出荷棟



沼田工場

所在地 — 広島県広島市安佐南区大塚西2丁目22-7
 事業内容 — 油圧ショベルの部品製造
 土地面積 — 約5万㎡
 建築面積 — 約1.1万㎡
 施設構成 — 製缶工場、部品工場、事務所

FACTORY PROFILE

広島事業所案内





未来への人材育成

総合研修センターでは、技能研修や新入社員研修など、未来の技術・技能・マネジメントを担うグローバル人材の育成を行います。



次世代の技術開発

先行技術センターは開発試験ベンチや生産技術開発などの設備を備え、先進技術の開発、差別化技術のさらなる強化を担っています。



地球に優しいエコ工場

五日市工場では、柱や床を白色塗装にして自然光を活かしたり、天井のダブル折板化で約5℃の断熱効果を得たりして、電力使用量の抑制に努めています。



お客様の多様なニーズに応え、新たな付加価値を創造する

創造力

ものづくり力

先進の技術と
培われた匠の技で
高い品質を生み出す

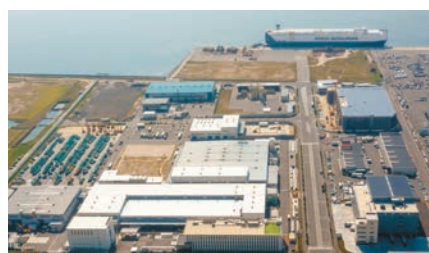
省エネやCO₂削減など、
環境に配慮したエコ工場

環境力



建機メーカー初の「DBJ環境格付」を取得

環境に配慮したものづくりが評価され、2012年9月に建設機械メーカーとして初となる株式会社日本政策投資銀行 (DBJ) の環境格付を取得しました。



物流改善によるCO₂削減

2009年10月に特定輸出申告制度を導入し、神戸港から五日市工場近隣の五日市港へ物流拠点を移動。これにより大幅なCO₂削減と輸送スピードアップを達成しました。

五日市工場

「Smart&Clean!」をコンセプトに最高水準の安全性・品質・生産性を追求

コベルコ建機グループのマザー工場として、「世界NO.1のものづくり」を目標に、最高水準の安全性・品質・生産性を目指しています。完全品質を追求した締付け保証工具、溶接・塗装・組立を1本の搬送機でつないだ直結ラインの採用など、安全・品質・生産性を見つめ直し、日々究極のものづくりを追求。さらに従業員の負担を軽減する設備や組立工場内をクリーンに保つ設備を積極的に導入しています。



締付け保証工具(ナットランナー)

AGV(無人搬送台車)

フレーム搬送コンベア

Cleanmeter
クリーンメーター
Clean Meter
粉塵量を監視するクリーンメーター
(メイン組立ライン)

溶接ロボット
(タンデム・シングル自動切替え)

フラッシング

沼田工場

油圧ショベルの部品に特化し、グローバルな部品供給拠点となる生産工場

2012年に誕生した五日市工場での油圧ショベル生産に伴い、これまで大型油圧ショベルの生産を行っていた沼田工場は、アタッチメントや足回りといった部品に特化した生産工場へと生まれ変わりました。高周波焼入れなどの熱処理技術や機械加工技術において、高い技術力を誇るだけでなく、大電流の溶接ロボットなど最新設備を導入し、さらなる生産能力強化と加工品質向上に努めています。



アタッチメント機械加工

スィベルジョイント機械加工

旋回減速機歯車加工



油圧ショベルが完成・出荷されるまで



荷受け

幅8メートルの下屋を設置し、雨天でも部品を濡らすことなく搬入します。



製缶

フレームなどの溶接・加工作業を行い、コンベアにて塗装工程へ搬出します。



塗装

全てライン化され、ショットブラスト・下塗り・上塗り・乾燥を行います。



サブ組立

エンジンやポンプなど各装置の組み立てを行います。



本体組立

各装置の組付けからローワー・アッパー・アタッチメントといった本体の組み立てを行います。



ローワー/アッパードッキング

ローワーとアッパーをドッキングします。旋回ベアリングは専用装置で締め付けします。



メイン組立

カウンタウエイトやキャブを取り付け、油圧ショベルの姿になります。



外装取り付け・テスト

油漏れ点検や性能試験などの最終検査を行い、デカールを貼り付けて完成となります。



出荷

海外向けの多くは近隣の五日市港から船積みし、世界中へ出荷されています。